

薬剤部

理 念

『患者様への安心、良質、適切な優しい薬物療法に寄与します』

基本方針

1. 常に患者様中心の医療を考え、医薬品の適正使用の推進を使命とします。
2. 「くすりの専門家」としての専門知識を携え、医療チームの一員として、高度医療を支えます。
3. 高い知識と技能の水準を維持するよう研鑽に努めます。

【スタッフ及び業務動向】

令和 5 年度は、薬剤師数 15 名、調剤補助員は 5 名と電子システムに精通した事務員 1 名の体制で開始しました。6 月に調剤補助員を 1 名増員し、薬剤師から調剤補助員へのタスクシフトを進めることができました。しかし、薬剤師 2 名、調剤補助員 1 名が退職したため、年度末の人員は減少しました。

業務内容は、調剤・注射調剤・院内製剤・無菌製剤・薬品管理・麻薬管理・治験薬管理業務・DI (医薬品情報管理)・薬剤管理指導業務・チーム医療への参画 (感染対策チーム、栄養サポートチーム、がん化学療法、緩和ケアチーム、褥瘡対策チーム、インシデント報告書事例検討会、医療安全推進担当者会議) に従事しました。

9 月末から電子カルテの持参薬処方への運用を開始し、医師の業務軽減に寄与しました。

薬剤管理指導件数は、5,771 件と前年度の 5,721 件とほぼ変わりませんでした。持参薬鑑別件数、処方箋枚数 (外来・入院とも)、入院の注射処方箋、外来がん患者指導件数はほぼ横這いでしたが、外来の注射処方箋はワクチンのオーダー運用の開始により 1.4 倍に増加、抗がん剤調製件数も 2,625 件から 3,168 件、TPN (中心静脈栄養) は 274 件から 518 件と大幅に増加しました。

今年度も後発医薬品において供給困難な状況が継続し、医薬品の確保、及び代替薬の提案に大変苦慮しました。厚生労働省が推進している後発医薬品への切り替えは、先発品に戻さないといけない薬品もありましたが、結果的には後発品は 12 品目増加となりました。

術前・検査前中止薬のスクリーニング、中止薬の指導件数は昨年度と同程度の件数を保ちました。

長期実務実習生は 4 名を受け入れ、薬学教育における薬剤師の育成に寄与しました。

【令和 5 年度実績】

常備医薬品数(令和 6 年 3 月現在)

内服薬	500 品目
外用薬	201 品目
注射薬	439 品目
合計	1,140 品目

後発医薬品院内採用品目数(令和 6 年 3 月現在)

内服薬	150 品目	(30.0%)
外用薬	41 品目	(20.4%)
注射薬	75 品目	(17.1%)
合計	266 品目	(23.3%)

令和 5 年度薬事審議会結果

新規採用	19 品目
削除	42 品目
後発切替	14 品目
先発切替	2 品目

払出し管理薬品数(令和 6 年 3 月現在)

麻薬	29 品目
毒薬	21 品目
向精神薬	25 品目
全身麻酔薬	10 品目
血漿分画製剤	16 品目
合計	101 品目

院内製剤件数(年間)

院内製剤	品目数	製造件数
内用剤	0	0
外用剤	18	511
注射剤	3	645
合計	21	1,156

無菌製剤処理件数	年間件数
TPN(中心静脈栄養)	518
抗がん剤	3,168

処方箋枚数(枚)		年間合計	1日平均
外来処方箋	院内処方箋	7,801	32.1
	院外処方箋	55,052	226.6
入院処方箋		38,222	104.4
注射処方箋(入院)		65,398	178.7
注射処方箋(外来)		16,790	69.1
注射処方箋(外来化学療法)		2,033	8.4
麻薬処方箋	内服・外用	1,008	2.8
	注射	6,607	18.1
	合計	7,615	20.8

院外処方箋発行率	87.6%
----------	-------

薬剤指導算定件数		年間合計	月平均
指導人数(人)		4,004	333.7
薬剤管理指導(件)	総算定数	5,771	480.9
	ハイリスク薬	2,137	178.1
	一般薬	3,634	302.8
加算(件)	麻薬指導	69	5.8
退院時指導(件)		291	24.3

外来がん患者指導件数	年間件数	60
------------	------	----

化学療法レジメン管理 (令和 6 年 3 月現在)	レジメン数	318
------------------------------	-------	-----

医薬品鑑別件数(年間)	件数	7,572
	剤数	49,684

外来患者薬剤情報提供 (年間件数)	一般	1,644
	手帳	1,644

血中濃度解析件数(抗 MRSA 薬)(年間)

初期投与設計	76
TDM 解析	132
特別薬剤治療管理料 1	37

術前・検査前中止薬（年間件数）

スクリーニング	2,237
中止薬指導	484

治験薬管理業務

治験実施年間件数	8
年間症例数	40

実務実習生受入実績（年間件数）

3 か月間：4 名

【薬剤師の他の資格取得者】

認定団体	資格等	人数
日本病院薬剤師会	がん薬物療法認定薬剤師	1
日本病院薬剤師会	日病薬病院薬学認定薬剤師	2
日本薬剤師研修センター	研修認定薬剤師	1
日本薬剤師研修センター	認定実務実習指導薬剤師	4
日本糖尿病療法指導士認定機構	日本糖尿病療養指導士	1
山口県医師会	やまぐち糖尿病療養指導士	1
日本臨床栄養代謝学会	NST 専門療法士	1
日本アンチ・ドーピング機構	公認スポーツファーマシスト	1
日本腎臓病協会	腎臓病療養指導士	1
日本循環器学会	心不全療養指導士	1

【業績集】

< 発表 >

開催年月日	演 題 名	演 者	学会名	場所
2023.10.29	院外処方疑義照会プロトコールの作成・運用	鏡真由子	山口県薬剤師フォーラム 2023	海峡メッセ下関
2024.1.27	当院における薬剤師から非薬剤師へのタスクシフト	前田佳子	第 12 回病棟薬剤業務研修会	山口グランドホテル（ハイブリッド開催）